



## 「3.11 からの出発」の10年間

東日本大震災から10年目の春を迎えました。当時、東北地方の甚大な被害がわかった直後から、会員の皆様より「東京子ども図書館はどのような支援をしますか」と多くのお問合せをいただきました。その思いを背に、2011年4月から「3.11からの出発」と名付けた復興支援プロジェクトをスタートさせました。盛岡のNPO法人「うれし野こども図書室」が、津波で図書館の建物も職員も失った陸前高田市に子ども図書館を作ろうと動き始め、当館もそれを全面的に支援することにしました。

同年6月に陸前高田、大船渡、釜石、宮古を訪問。その際、以前「おばあさんのいすプロジェクト」で訪ねていた陸前高田市の小友小学校でお話をしました。変わり果てた町で過ごす子どもたちがお話を無心に聞く姿に、その後もお話を届けたいという思いを強くし、学期ごとに伺うことになりました。現在まで28回訪問しています。

2011年11月には関係者の尽力のもと、念願の、NPO法人うれし野こども図書室分館・陸前高田こども図書館「ちいさいおうち」が開館。建物（トレーラーハウス）や設備は他機関からの助成金で賄うことができ、当館は職員を確保するための支援を行いました。



この10年間、皆様から多くのご支援をいただき、活動を継続することができました。会員の皆様、ボランティアグループ、チャリティお話を開催して下さる語り手の会、バザーで寄付を募って下さった保育園、お店に寄付箱を用意して下さった書店、チャリティコンサートを開いて下さった音楽家の方……多くの思いを預かりました。当館でもチャリティお話を14回開き、全国の語り手の方々にご協力いただきました。以下にご寄付の用途と活動の概要を、ご報告いたします。

### ■ 寄せられたご寄付 総額 48,159,834 円

ご寄付 38,073,797 円（\*うち当館のチャリティお話し会 1,726,335 円）

「うれしいさんかなしいさん」の本とグッズ売上 10,086,037 円

加えて「ちいさいおうち」のために出版社からは多くの図書のご寄贈を受けました。

### ■ ご寄付の用途と活動概要

- ・ 陸前高田こどもとしょかん「ちいさいおうち」人件費・運営費 28,922,905 円  
大船渡市在住の中井佳織さんを当館の正規職員として採用。また現地で他2名も臨時職員として採用しました。随時上京して当館で研修を積みました。

- ・小友小学校児童への本のプレゼント 2,682,043 円  
お話会で訪問した同校で、全校児童に、館で用意したリストの中から好きな本を選んでもらい、夏・冬・春休みの前に、ひとりひとりに贈りました。



- ・「3.11 からの出発ブックリスト——被災地の子どもたちに届けたい本」発行 137,800 円

本を失った図書室や文庫などへの助けとなるため、また、子どもたちに本を贈りたいと考えている方の参考となるよう、購入できる本の解題つきリストを作成し、無料配布しました。2011～2012 年度にかけ 1334 冊を 10 集に分け紹介。このリストをもとに『今、この本を子どもの手に』を再編集、2015 年に刊行しました。

- ・東北地方への出張・講師派遣経費 4,156,288 円

小友小学校訪問の他、東北地方の読書支援活動を後押しするため、福島などへの講師派遣を優先して行いました。2015 年 5 月には「児童図書館の基本を学ぶ出張講座キャラバン」を宮城で開催しました。

- ・資金調達のための経費（印刷費・製作費・会場費等） 9,759,614 円

収益を活動資金にあてるために『うれしいさん かなしいさん』（松岡享子 さく・え）の絵本を出版。手ぬぐいやペーパーサートなども作りました。

- ・ニュースレター発行（機関誌に挟み込んだ報告書） 81,703 円
- ・陸前高田市立図書館へ本を寄贈 22,400 円
- ・人件費を含む当事業運営費 2,397,081 円

2017 年 7 月、陸前高田市立図書館が開館したのを機に、2018 年 3 月で「ちいさいおうち」を地域の方に引き継ぎました。これまで働いてきた職員、利用者の皆さんで立ち上げたボランティア団体による文庫として活動を続けています。

現在、「3.11 からの出発」は「子どもたちに本を贈ろうプロジェクト」に移行しています。募金をもとに、本のセットを子ども関連施設に贈る取組みです。2020 年度は大船渡市のグループ「おはなしころりん」の皆さんが、保育園等 23 ヲ所へ届けてくださいました。また今後、青森市の篤志家の方のご厚意により、青森市内全小学校に本のセットをお贈りする予定です。 <https://www.tcl.or.jp/> 本を贈ろうプロジェクト

2020 年度はコロナ禍により、小友小学校、「ちいさいおうち」への訪問が叶いませんでした。10 年は過ぎましたが、事情が許せば陸前高田を再訪し、多くの関係者の証言を集めた報告書を作成し、事業のしめくくりをしたいと考えております。